



医療法人 厚生堂

長崎病院

広報誌

2026.9

vol.

148

むつみ

当院の理念

私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

目次

大腸がん検診を受けていますか.....1

お知らせ.....4

デイサービスの紹介.....2・3

大腸がん検診を受けていますか

一症状がない今こそ、
早期発見の機会です— 医師 横山 尚子

大腸とは

大腸は、食べ物が胃や小腸で消化・吸収されたあとに通る、消化管の最後の部分です。主な働きは、便から水分を吸収して便の形を整え、体の外へ排出する準備をすることです。大腸の調子は、便秘や下痢、腹痛、血便など、日々の体調にも深く関係しています。

大腸がんとは

大腸がんは、その大腸に発生するがんです。日本人にとって非常に身近ながんの一つで、男女ともに罹患数・死亡数ともに多いがんです。食生活の欧米化、運動不足、肥満、飲酒、喫煙などの生活習慣も関係するとされ、年齢とともに発症のリスクが高くなります。

早期には自覚症状がほとんどなく、血便、便が細くなる、便秘や下痢を繰り返す、腹痛、貧血、体重減少などの症状が出たときには、すでに進行していることもあります。一方で、早期に発見できれば治療成績は良好で、内視鏡治療など体への負担が少ない治療で済む可能性もあります。だからこそ、「症状が出てから受診する」のではなく、「症状がないうちに検診で見つける」ことが大切です。

大腸がん検診とは

国の指針では、大腸がん検診は40歳以上を対象に、年1回、便潜血検査で行うことが勧められています。便潜血検査は、便の中に目に見えない微量の血液が混じっていないかを調べる検査です。大腸がんや大腸ポリープでは、病変の表面から少量の出血が起こることがあり、そのサインを調べます。検査は自宅で便を採取して提出するだけで、食事制限や下剤による前処置も不要です。体への負担が少なく、忙しい方にも受けやすい検査です。

また、科学的根拠に基づいて、大腸がん死亡率を減少させる効果が認められる検査です。

ただし、便潜血検査は一度受ければ終わりではありません。大腸がんやポリープからの出血は毎日必ず起こるわけではないため、がんがあっても陰性となることがあります。検査の限界を補うためにも、毎年継続して受けることが大切です。

大腸がん検診を受けましょう

日本の大腸がん検診受診率は、まだ十分とはいえませ

ん。2022年の国民生活基礎調査では、40～69歳で過去1年間に大腸がん検診を受けた人の割合は、男性49.1%、女性42.8%でした。年々、少しずつ上昇していますが、対象者の半数前後にとどまっています。国の第4期がん対策推進基本計画では、がん検診受診率60%が目標とされており、さらなる受診率向上が求められています。

便潜血検査が陽性だったら、大腸内視鏡検査を受けましょう

さらに重要なのが、便潜血検査で陽性となった後の精密検査(大腸内視鏡検査)です。

便潜血陽性は「大腸のどこかで出血があった可能性」を示すサインであり、通常は大腸内視鏡検査による精密検査が必要です。

「痔があるから陽性になったのだろう」「もう一度便検査をして陰性なら大丈夫」と自己判断することは危険です。便潜血検査は、がんを確定する検査ではなく、精密検査が必要な人を見つけるための入口です。陽性になったからといって必ず大腸がんというわけではありませんが、実際に精密検査で大腸がんや、将来がん化する可能性のあるポリープが見つかることがあります。大切なのは、陽性というサインを放置しないことです。

また、便潜血検査が陰性であっても、血便、腹痛、便通異常、便が細くなる、貧血、原因不明の体重減少などの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。検診は「症状のない方」を対象にしたものです。症状がある場合には、検診ではなく診療として詳しい検査を受ける必要があります。

まとめ

大腸がん検診は、決して特別な検査ではありません。**40歳**を過ぎたら、**年に一度**の習慣として便潜血検査を受けましょう。そして、陽性となった場合には、必ず**精密検査(大腸内視鏡検査)**を受けましょう。症状がない今こそ、早期発見のための大切なタイミングです。ご自身のために、そしてご家族の安心のために、大腸がん検診を毎年の健康管理に取り入れてください。

お住まいの自治体によっては、大腸がん検診の受診券やクーポン券が配布されている場合があります。対象年齢や実施期間、受診できる医療機関は自治体によって異なりますので、市区町村からの案内やホームページをご確認ください。

「住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らしたい」
そんな思いを支えるために、デイサービスセンターながさき
では利用者様ひとり一人に寄り添ったサービスの提供を
心がけています。

デイサービスには次のような役割があります。

- ①生活指導、相談援助
- ②健康チェック
- ③日常生活動作の機能訓練
- ④食事の提供
- ⑤入浴介助
- ⑥レクリエーション
- ⑦送迎

今回は、その中でも利用者様から特にご好評をいただ
いている「入浴」「機能訓練」「レクリエーション」について
紹介をします。

入浴について

ほほえみがさきでは、利用者様の身体状況に合わせ
て利用できる3種類の浴室を備えています。

①檜風呂

1人ずつゆったり入
れる檜風呂です。入
浴台に腰かけて安
全に浴槽をまたぐこ
とができ、安心して
入浴できます。



②リフト浴

浴槽をまたぐ事
が難しい方にご
利用いただける
浴槽です。専用
の椅子が昇降
し、無理なく浴
槽へ出入りでき
ます。



③特殊浴槽

シャワーチェアに座ったまま入浴できる浴槽です。微細
なバブル機能を備えており全身を優しく包み込みます。



冬場は床暖房を完備し、脱衣室や浴室も暖かくしてい
ます。

入浴は、身体を清潔に保つだけでなく、湯船につかるこ
とで、心身の緊張もほぐれ、リラックス効果も期待できま
す。

機能訓練について

機能訓練は、利用者様それぞれの身体機能や生活機
能の維持・向上を目的とし実施しています。体操や口腔体
操をはじめ、クイズや音楽、ゲームなども取り入れ、楽しみ
ながら身体を動かせる工夫をしています。

- ①センサー機能付きバンドを装着し、モニターを見ながら
運動をします。

約40種類の運動メニューがあり、日常生活で必要とな
る上半身・下半身の筋力向上を目指します。

*詳しくはデイサービスホームページで動
画をご覧いただけます。



- ②上肢、下肢の筋力を鍛えるトレーニング器具があります。



- ③マッサージ師による体のほぐしができます。「血流の流れがよくなり体が温くなった」と利用者様から大変好評をいただいています。



レクリエーションについて

レクリエーションの一環として四季を感じられる行事を大切にしています。利用者様同士の交流も深まり、「また来たい」という楽しさに繋がっています。

①芋ほり大会

屋上の農園で毎年春に苗を植え、秋にはさつま芋を収穫しています。30センチ以上掘った底にあるさつま芋をやっとの思いで掘り出した時の利用者様の笑顔は格別です。収穫したさつま芋はおやつ作りにも活用し、皆さんでおいしくいただいています。



②運動会

準備運動、選手宣誓から始まり、運動会の音楽が流れると、会場は一気に熱気に包まれます。普段、物静かな利用者様も競技が始まると真剣な表情に変わり、勝利を目指して全力で参加されます。応援にも力が入り、スタッフが思わず間に入るほど盛り上がることもあります。

結果発表では、勝利チームの万歳三唱に会場が笑顔に包まれます。



デイサービスセンターほほえみながさきでは、見学や体験利用を随時受け付けています。

「どんな雰囲気なのか見てみたい」

「利用について相談したい」

「家族の介護について話を聞きたい」

そのような方もお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

デイサービスセンターほほえみながさき

..... 担当：安永

営業日時 月～土 8:30～17:30 (祝日も営業)

〒733-0011 広島市西区横川3丁目6-17

TEL 082-532-6630 FAX 082-296-2262

带状疱疹ワクチンのお知らせ

令和8年度対象者：広島市に住民登録があり、令和8年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方

接種期間：令和9年3月31日まで

組み換え（不活化）ワクチン〔シングリックス〕

接種回数 2回 料金 18,100円×2回

生ワクチン〔ピケン〕

接種回数 1回 料金 4,900円

対象となる方には、広島市から令和8年5月下旬頃に接種券、予診票が送付されています。

接種券が届いていない方は、各区保健センターへお問い合わせください。

当院での接種をご希望される方は、事前にご予約をお願いいたします。

糖尿病教室 食事会

～管理栄養士による指導と実演～

日時：2026年11月21日（土）

11:30～13:30

場所：長崎病院6階会議室

会費：700円（お弁当代として）

※お申し込みが必要です。

ご希望の方は長崎病院外来受付まで

TEL 082-208-5801

外来担当医表

診療時間 午前 8:30～12:00／午後 2:00～5:30

		月	火	水	木	金	土
午前	内科 【第1診察室】	住田 〈循環器〉	院長	山下 〈糖尿病〉	住田 〈循環器〉	院長	* 大野 / 沖本 〈糖尿病〉
	内科 【第2診察室】	山根 〈糖尿病〉	古森 〈糖尿病〉	長崎 孝平 〈腎臓〉	長崎 孝平 〈腎臓〉	井上 〈呼吸器〉	住田 熊谷 山下/古森 (第1・3週) (第2・4週) (第5週)
	皮膚科・熱傷 【第3診察室】	蓮沼	鍋島	鍋島	鍋島	鍋島	森脇 坂本 (第1・3・5週) (第2・4週)
午後	内科 【第1診察室】	熊谷 〈リウマチ・膠原病〉	井上 〈呼吸器〉	古森 〈糖尿病〉	熊谷 〈リウマチ・膠原病〉	山下 〈糖尿病〉	長崎孝平 山本 (第1・3・5週) (第2・4週)
	内科 【第2診察室】	都甲 〈神経内科〉	三森 〈神経内科〉		高橋 〈循環器〉	* 箱田 〈リウマチ〉	
	皮膚科・熱傷 【第3診察室】	浪花	* 水野 / 坂本 / 神垣	* 佐々木 / 松尾 / 宮野音	齋藤	金本	休診

・都合により担当医が変更する場合がございます。 ・〈 〉は専門分野です。 ・*診察週が変動しますので事前にお問い合わせください。

2026年9月1日現在

長崎病院のめざす〔地域医療〕〔包括医療〕

長崎病院

・内科（循環器・腎臓・呼吸器・糖尿病・リウマチなど）
・皮膚科・熱傷センター
・リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語療法）
☎082-208-5801（代）

長崎病院ヘルスケアセンター

（人間ドック・健診施設機能評価認定優良施設）
☎082-208-5791（代）
・訪問看護ステーション ながさき
☎082-503-3236（担当：平本）

みささ文化ビル

・居宅介護支援センター
☎082-230-8181
（担当：滋野）

ほほえみの郷

・グループホームあいあいホームながさき
☎082-532-6636（担当：荻原）
・デイサービスセンターほほえみながさき
☎082-532-6630（担当：安永）

基本方針

1. 患者さんの生命の尊厳と人権を尊重します
2. 常に新しい医学・医療の研鑽に励み、良質な医療サービスに努めます
3. 明るく清潔で快適な医療施設を整えます
4. 思いやりの医療・看護・介護を目指します
5. 健全な経営を基盤とし、患者さんや家族の皆様及び職員に満足される医療機関となるよう努めます
6. 可能な限り患者さんのライフスタイルにあった自立した生活ができるよう努めます

患者さんの権利

医療法人厚生堂は患者の権利に関する「リスボン宣言」にのっとり、信頼される医療の提供を目指します。

1. 個人の尊厳を守るための支援を受ける権利
2. 良質で安全な医療を平等に受ける権利
3. 病状や治療について十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療の選択について自らが決定する権利
5. 診療に関わる個人情報の保護を受ける権利
6. 診断や治療について、他の医師の意見を求める権利（セカンドオピニオン）
7. 健康増進・疾病予防を行うための健康教育を受ける権利



医療法人 厚生堂
長崎病院

〒733-0013 広島市西区横川新町3番11号

〔 JR横川駅 南口より西へ300m、西区民文化センター向い 〕

駐車場 完備

TEL 082-208-5801（代）
FAX 082-208-5821

診療時間 午前8時30分～12時／午後2時～5時30分

休診日 日曜日・祝祭日

<https://www.nagasaki-hp.jp>

